

留学経験者アンケート

① 留学先について

都市名	ベルリン
留学先	Atelier HY+
学んだ分野	Kunst
留学期間	2015年 2月 ~ 2015年 4月
取得資格・学位	なし
留学形態	自己手配

② 留学の動機

留学に至った動機を教えてください。また、ドイツを選択した理由、他国との比較、決め手になったこと等お答えください。

日本の美術大学在学中にミュンヘン美術アカデミーからの留学生と知り合い、ドイツの美術・美大事情についての話を聞いた事が大きなきっかけです。勿論学費が殆ど掛からないところや現代芸術が盛んである事も大きな決め手となりましたが、何より日本とは異なる作品に対する考え方や制作上で重きを置く点に非常に感銘を受け、ドイツで続けて美術を勉強していきたいと思い留学を決意しました。

③ 留学前の準備期間、言語の勉強方法

留学を思い立ってから実際に現地へ出発するまで何か月くらいの準備期間が必要でしたか？

大学卒業後直ぐに渡独した為、特に準備期間は設けていませんでしたが、大学 3 年の夏頃に留学する意思を固めてからは、卒業までの間に語学学校へ通ったりアルバイトをして留学資金を貯めたりしていました。

準備期間中にいちばん大変だったことを教えてください。

独学で勉強するのもにも限界があり後々語学学校へと通いましたが、大学の授業や制作、更に語学学校の授業の合間にアルバイトをして語学学校の学費と留学資金を並行して貯めていくのには苦勞しました。

留学前に英語またはドイツ語をどれくらい勉強しましたか？その際に語学試験を受験した場合は試験名もお答えください。

独学で約半年、その後東京の語学学校(Goethe-Institut)で約 10 か月程ドイツ語のコースに通いました。日本では Goethe-Zertifikat B1 まで受験し取得しました。渡独後もアトリエとの制作と並行しながら現地の語学学校に通っていました。

留学先で学んだ内容について、留学前にどの程度の技術を習得していましたか？

既に日本の美術大学を卒業している為、技術面に関しては基礎的な事(デッサン等)はある程度習得していました。

④ 情報収集方法

留学についての情報収集はどのようにしましたか？

アトリエの情報や渡独に関する情報は、基本的にインターネットで収集しました。

留学先選択時に重視した情報を教えてください。

受験の為のマップ(作品ポートフォリオ)を制作するにあたって短期間自由に利用できるアトリエを提供してもらえらるという事、又、日本では得ることが出来ない受験に関する生の情報を知ることが出来るという事が大きな決め手となりました。

⑤ 出願・入学試験

出願時に提出した書類と、提出方法を具体的に教えてください。

提出書類は特にありません。インターネットで日本から連絡を取り、渡独後直接訪問して見学させて頂きました。

入学試験を受けましたか？またその内容を教えてください。

入学試験はありません。

⑥ 学費、生活費等

留学中にかかった学費(+諸経費)の総額はおよそいくらでしたか？どのような支払方法が便利でしたか？

アトリエでの3か月間のコース費用は約800€で現金で支払いました。プライベートの語学学校へ並行して通っていましたが、8週間のインテンシブコース(週5日、3時間)で約480€でした。

学費以外の生活費(住居費、食費、光熱費、教養・娯楽費等)の、1か月平均額または留学期間全体の金額、及び内訳を教えてください。

家賃(光熱費・インターネット込):月360€、食費(外食込):月100€以下

娯楽費、画材費等は毎月異なりました。ベルリンはドイツの中では比較的物価が安かったという事もあり、あまりお金はかからなかったように思います。

⑦ 授業等

授業の特徴や受講した感想や工夫、苦労した点を教えてください。

座学や講義のようなものはなく、解放されている時間内であれば、アトリエの設備を使って自由に作品を制作する事が出来ました。課題に縛られることなく、自分のペースで制作する事が出来たのが嬉しかったです。

週に1度、制作した作品をクラス内で発表することが出来る機会があったのですが、自分の作品をドイツ語で説明するという事に非常に苦労しました。講評は日本語とドイツ語で受けることができ、とても勉強になりました。

語学コースは受講しましたか？期間はどのくらいで1日何時間くらい受講しましたか？

個人的にプライベートの語学学校へ通っていました。午前中の3時間、週5日のインテンシブコースに2か月程通っていました。

留学先の施設は充実していましたか？また、授業外でも自主的に利用することはできましたか？

アトリエは明るく広々としており非常に制作しやすかったです。アトリエの開いている時間内であればいつでも制作する事が出来ました。

コンサートや美術展に行くあるいは参加するなど、クラス外で、留学目的に関連する活動を行いましたか？

アトリエの仲間で近場の公園へ絵を描きに行ったり、美術館へ行ったりしました。

クラスの数や年齢層、学生の専門分野における能力レベルはどのようでしたか？

クラスの数人は6名程で、年齢層は10代から20代と若かったです。基礎的な技術力(デッサン等)は人それぞれで、始めたばかりの人いれば既に美術大学を卒業している人まで様々でした。

先生とのやり取りでよかったこと、大変だったことはありましたか？

アトリエを運営している方も実際に、当時の志望校であり、アトリエでの準備期間を経て合格することができたミュンヘン芸術アカデミーの卒業生・在校生でしたので、生の学生生活に関する情報や試験の内容を事前に聞くことが出来たのは非常に良かったと思います。

⑧ 住居

住居について教えてください。

日本人2人とドイツ人1人のWG(シェアアパート)に住んでいました。一部屋を借りて、キッチンやバスルーム等は共同で使っていました。

住居を決めた際の基準や、探した方法を教えてください。

家賃と立地を最優先に探しました。インターネットの掲示板の広告を見て直接連絡を取り、顔合わせをしてから入居の許可を頂きました。

住居でトラブルはありましたか？あった場合、どのように対処しましたか？

トラブルは特にありませんでしたが、共同生活の為様々なルールがあり、大家の方から指摘を受けた場合は気を付けるよう心掛けていました。

⑨ 現地生活状況、治安状況、健康管理、各種相談先等

日本から調達・持参していった方がよいものと、現地で調達したほうがよいものがあれば教えてください。

画材は日本と対して値段が変わらないのでこちらで揃えても問題ありません。しかし、ペインティングオイルやマスキングテープ等、一部の商品は少し割高なように感じます。

生活用品では日本で買ってきたラップホルダーが非常に役立っています。又、個人的に独日・日独電子辞書は読解の時間を短縮する為にも必須です。

校内・校外で問題があったとき、誰に相談しましたか？また、どのように解決しましたか？

友達や同居人に相談していました。ドイツ語での書類で不確かなところがあった際には、ドイツ人の同居人に書類を読んでもらい、より内容を噛み砕いて教えてもらったりしました。

現地の人(学生に限らず)や他の留学生との文化的摩擦、トラブルの経験や、異文化の中で気がつかった点がありましたか？

こちらではお風呂に浸かるという習慣があまりない為、一度大家さんからお風呂でのお湯の使用を控えるよう指摘されたことがあります。元よりお湯の使用は「日本にいた時と比べて」かなり控えていたつもりではあったのですが、それ以降更に節水を心掛けるようになりました。

現地の治安状況についてどのように情報収集しましたか？また治安状況を踏まえて気がつけた点について教えてください。

現地の治安状況については友達やクラスメイトから聞いていました。私の住んでいた地区は比較的治安の良い地区でしたが、出来るだけ夜は出歩かないよう心掛けていました。

犯罪や危険な目にあったことはありましたか？その際どのように対処しましたか？

大規模な住居探しのサイトで部屋を探していた際は、何度も詐欺のメールを受け取りました。幸い私は被害に遭う事はありませんでしたが、ベルリンでの住宅難に付け込み詐欺が頻発しているようなので、部屋探しの際には十分な注意が必要です。

どのような保険に入っていましたか？留学先校等現地で保険の指定はありましたか？

安価なプライベート健康保険に加入していました。特に指定の保険はありませんでしたが、ワーキングホリデービザを申請していた為、ビザ申請の為の条件を満たしている保険に加入する必要がありました。

日本またはドイツで予防接種・健康診断を受けた場合、その内容をお教えてください。

まだ受けた事はありません。

現地の医療サービスを受けましたか？またその場合、気をつけるべき点があれば教えてください。

一度クリニックでの診察を受けた事がありますが、保険のおかげで採血等を行ったにも関

わず費用は薬代のみでした。

身体の大きなドイツ人と同じように薬を処方される為、日本人が服用した場合、稀に意図せずオーバードーズとなり身体や精神面に問題が起こる事もあるようです。きちんと医者を確認した上で服用したにも関わらず身体に異常が現れたという方もいらっしゃるの
で、服用には細心の注意を払ったほうが良さそうです。

⑩ 帰国経験と進路、仕事、学業との関係

現在の状況について、差し支えない範囲で教えてください。

ミュンヘン美術アカデミーで Freie Kunst を専攻しており、現在 2 ゼメスター目です。制作の傍らウェイトレスのアルバイトをして生活費を稼いでいます。

留学経験はどのように活かされていますか？あるいはどのようにいかす予定ですか？

ベルリンで様々な展示を見て、日本に比べ表現の幅も広く限りがないので、むやみやたらに他者と自身を比較するのではなく自分自身と向き合っていかなければならないのだと強く感じました。アカデミーで勉強している今もその事を意識しながら制作しています。

⑪ 後輩へのアドバイス

これまでの留学準備と留学生生活を振り返って、これから留学を考えている後輩へのアドバイスをお願いいたします。

不慣れな土地での新しい生活に加え、言語の壁により他人とのコミュニケーションが上手く取れないという事は、想像以上のストレスとなり留学生活に大きな支障を来します。勿論日本国内で出来る事は限られており実践的な語学は現地で上達させるしかないので、基本的な事(文法や語彙)をしっかりと日本でやっておく事を強く勧めます。

又、留学に対して身内からの理解を得て応援してもらえるという事は、金銭的な面だけに限らず精神的な面でも大きな支えとなります。是非留学する前にきちんと「自分は何故留学がしたいのか」を明確にし、様々な面で支えてくれる人を沢山見つけておいて下さい。